

国際情勢の変化と 日本のエネルギー問題

ロシアによるウクライナ侵略や新型コロナウイルス感染の影響が長期化するなか、エネルギー安全保障は大きく揺らぎ、世界経済も変化しています。一方、気候変動が一因とみられる異常気象が頻繁に起こり、新潟県内でも、積雪の減少、高温によるコメの品質悪化や、漁獲の種類が以前と変わるなどの影響を受けています。

世界中で懸念が広がるなか政府は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロと宣言し、カーボンニュートラルを成長戦略と位置付けました。

その目的を達成するためには、どのようなエネルギー政策を日本は取っていくべきか、三浦さんと一緒に考えていきます。

日時

2023年1月14日(土) 15:00~16:30

会場

刈羽村生涯学習センター「ラピカ」文化ホール

定員

150名様(無料・予約制)

※お申込みは刈羽村商工会まで TEL: 0257-45-2386 FAX: 0257-45-2985

※感染症予防のため、ご来場の際に検温を実施致しますのでご了承下さい。
また、参加される方はマスク着用をお願い致します。



三浦 瑠麗氏

国際政治学者 シンクタンク、株式会社山猫総合研究所 代表

1980年10月神奈川県茅ヶ崎市生まれ。

内政が外交に及ぼす影響の研究など、国際政治理論と比較政治が専門。東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了、博士(法学)。東京大学公共政策大学院専門修士課程修了、東京大学農学部卒業。日本学術振興会特別研究員、東京大学政策ビジョン研究センター講師などを経て2019年より現職。

主な著書に、『21世紀の戦争と平和—徴兵制はなぜ再び必要とされているのか』(新潮社、2019年)、『「トランプ時代」の新世界秩序』(潮新書、2017年)、『孤独の意味も、女であることの味わいも』(新潮社、2019年)、『私の考え』(新潮新書、2020年)、近著に『日本の分断—私たちの民主主義の未来について』(文春新書、2021)など著書多数。

主催

刈羽村商工会

共催

刈羽村

協力

(一財)日本原子力文化財団